

授 業 科 目 名	国際社会論	教 員 名	小柴 裕子	免許・資格と の 関 係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独	卒 業 要 件	保育士	選択必修
科 目 番 号	KOK202	配当年次	2年後期		こども音楽療育士	
単 位 数	2単位				小幼コース	
科 目						
施 行 規 則 に 定める科目区分 又 は 事 項 等						
一 般 目 標	・めまぐるしく変動する国際社会の現況と課題について、多元的な観点から学ぶ。 ・時事問題に関する情報及び知識を獲得する。 ・主体的に課題に取り組む。					
到 達 目 標	(1)講義で学んだことを簡潔にまとめられる。 (2)文献をまとめ、発表できる。 (3)グループワーク（資料収集と分析、インタビュー、アンケートなど）を実施し、発表できる。 (4)自分が考えた課題とその解決策を伝えることができる。					
授 業 の 概 要	本講義の前半は、文献を読み、海外の多文化社会における言語と教育、格差、権利、言語政策について討議する。後半は、日本国内の外国人に視点をおいて、グループワークを通じ、多文化共生について検討する。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」「4. 教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回：ガイダンス（授業の進め方、ねらい、成績評価等についての説明） 講義で扱う資料を選定し、担当者を決めます（目標(1),(2)） 第2回：文献講読① 海外の多文化社会に関する文献について発表し、議論を行います。（目標(1),(2)） 第3回：文献講読② 海外の多文化社会に関する文献について発表し、議論を行います。（目標(1),(2)） 第4回：文献講読③ 海外の多文化社会に関する文献について発表し、議論を行います。（目標(1),(2)） 第5回：文献講読④ 海外の多文化社会に関する文献について発表し、議論を行います。（目標(1),(2)） 第6回：文献講読⑤ 海外の多文化社会に関する文献について発表し、議論を行います。（目標(1),(2)） 第7回：多文化共生について考える①（目標(1),(2),(3)） 日本国内における多文化社会の実況と課題について考えます。 第8回：多文化共生について考える②（目標(1),(2),(3)） 日本国内における多文化社会の実況と課題について考えます。 第9回：調査と発表準備①（目標(2),(3),(4)） グループに分かれて多文化共生の課題について調査します。 第10回：調査と発表準備②（目標(2),(3),(4)） グループに分かれて多文化共生の課題について調査します。 第11回：調査と発表準備③（目標(2),(3),(4)） グループに分かれて多文化共生の課題について調査します。 第12回：調査と発表準備④					

	第13回：発表①（目標(2), (3), (4)） グループごとにプレゼンテーションを行います。 第14回：発表②（目標(2), (3), (4)） グループごとにプレゼンテーションを行います。 第15回：まとめ（目標(2), (3), (4)）
学 生 に 対 す る 評 価	課題・レポート（40%）、プレゼンテーション・グループワーク（60%）を総合して評価する。
時 間 外 の 学 習 に つ い て	前半の文献講読では、発表者は、担当する章や論文のレジュメを準備します。充実した議論にするため、他の受講生は、次回扱われる章や論文をよく読んで、自分なりのディスカッションポイントを考えてきてください。 本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。
テ キ ス ト	講義時に適宜プリントを配布する。
参 考 書 ・ 参 考 資 料 等	参考書・参考資料等は、適宜紹介する。
担当教員からの メ ッ セ ー ジ	シラバスは、講義の進捗等により変更の可能性があります。
オフィスアワー	講義前後の時間。その他必要に応じて行う。